

株式会社ゲームカード・ジョイコホールディングス

証券コード：6249

2018年(平成30年)3月期
第2四半期決算説明会
2017年11月16日(木)

新丸ビルコンファレンススクエア 902

INDEX

1. 2018年（平成30年）3月期 第2四半期累計期間の状況

(1)連結損益計算書	04/20
(2)通期連結損益着地見込み	08/20
(3)連結貸借対照表	09/20
(4)連結キャッシュ・フロー計算書	10/20
(5)配当金	11/20

2. 2018年（平成30年）3月期 市場環境と下期の取り組み

(1)市場環境の変化	13/20
(2)加盟店舗数の推移	14/20
(3)規制について	16/20
(4)管理遊技機とは	17/20
(5)下期の取り組み	18/20

本資料お取り扱い上の注意	20/20
--------------	-------

1. 2018年（平成30年）3月期 第2四半期累計期間の状況

(1) 連結損益計算書

① 主な損益一覧

(単位:百万円)

区 分	2017年3月期	2018年3月期	前年同期比(%)	
	第2四半期(累計)	第2四半期(累計)		
売上高	9,745	8,557	△1,187	△12.2
売上総利益	4,340	4,112	△227	△5.2
販管費	3,075	2,181	△894	△29.1
営業利益	1,264	1,931	666	52.7
経常利益	1,277	1,927	649	50.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	791	1,399	607	76.8

② 売上高の明細

(単位:百万円)

区 分	2017年3月期	2018年3月期	前年同期比(%)	
	第2四半期(累計)	第2四半期(累計)		
売上高 計	9,745	8,557	△1,187	△12.2
機器売上高	3,560	2,862	△697	△19.6
カード収入高	1,825	1,609	△216	△11.9
システム使用料収入	4,131	3,867	△263	△6.4
その他の収入	227	218	△9	△4.1

<販売台数の推移>

区 分	2016年3月期 (上期)	2016年3月期 (下期)	2017年3月期 (上期)	2017年3月期 (下期)	2018年3月期 (上期)
販売台数(台)	60,963 (13,674)	49,570 (△6,574)	29,429 (△31,534)	41,267 (△8,303)	20,844 (△8,585)

()内の数値は、前年同期比となっております。

<加盟店数の推移>

区 分	2016年3月期 (上期末)	2016年3月期 (下期末)	2017年3月期 (上期末)	2017年3月期 (下期末)	2018年3月期 (上期末)
店舗数(店)	4,315 (△280)	4,184 (△259)	4,066 (△249)	3,957 (△227)	3,826 (△240)

()内の数値は、前年同期比となっております。

③ 売上総利益の明細

(単位:百万円)

区 分	2017年3月期 第2四半期(累計)	2018年3月期 第2四半期(累計)	前年同期比(%)	
			Δ	△
売上総利益 計	4,340	4,112	Δ227	△5.2
機器売上高	480	457	Δ23	△4.9
カード収入高	1,206	1,042	Δ163	△13.6
システム使用料収入	2,588	2,560	Δ28	△1.1
その他の収入	64	52	Δ11	△18.3

④ 販管費の明細

(単位:百万円)

区 分	2017年3月期 第2四半期(累計)	2018年3月期 第2四半期(累計)	前年同期比(%)	
販管費 計	3,075	2,181	△894	△29.1
人件費	1,135	852	△283	△24.9
研究開発費	433	155	△277	△64.1
減価償却費 (のれん償却費含む)	393	294	△99	△25.2
その他	1,112	878	△234	△21.1

<研究開発費>

(単位:百万円)

区 分	2017年3月期 第2四半期(累計)	2018年3月期 第2四半期(累計)	前年同期比(%)	
研究開発費	433	155	△277	△64.1
(直接費)	(139)	(1)	(△138)	(△99.3)
(間接費)	(293)	(154)	(△139)	(△47.4)

(2) 通期連結損益着地見込み

(単位:百万円)

区 分	2018年3月期 第2四半期(累計)	2018年3月期 通期見込み	進捗(%)	
売上高	8,557	16,600	△8,042	51.6
営業利益	1,931	2,200	△268	87.8
経常利益	1,927	2,200	△272	87.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,399	1,400	△0	100.0

通期の見通しは風適法の改正により「遊技球(メダル)数表示装置」の搭載が明記されたことなどを受け、管理遊技機及びギャンブル依存症対策に関連する研究開発費などの販管費が予算外でも生じる可能性があるため、現時点での通期見通しは公表値のままとさせていただきます。

(3) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

区 分	2017年3月期末	2018年3月期 (第2四半期末)	前期末比(%)	
			△	△
資産の部 合計	50,648	49,223	△1,425	△2.8
(流動資産)	(40,015)	(39,074)	(△941)	(△2.4)
(固定資産)	(10,633)	(10,148)	(△484)	(△4.6)
負債の部 合計	12,795	10,408	△2,386	△18.6
(流動負債)	(7,932)	(6,202)	(△1,729)	(△21.8)
(固定負債)	(4,862)	(4,206)	(△656)	(△13.5)
純資産の部 合計	37,853	38,814	960	2.5
(株主資本)	(37,830)	(38,801)	(971)	(2.6)
(その他包括利益累計額)	(23)	(12)	(△11)	(△47.9)

(4)連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区 分		2017年3月期 第2四半期(累計)	2018年3月期 第2四半期(累計)	前年同期比(%)	
期首	現金及び現金同等物の残高	14,530	17,476	2,946	20.3
期中	営業活動によるCF	442	1,242	800	181.1
	投資活動によるCF	2,280	△3,521	△5,801	---
	財務活動によるCF	△664	△533	130	△19.7
	増減額(△は減少)	2,057	△2,812	△4,869	---
期末	現金及び現金同等物の残高	16,587	14,664	△1,923	△11.6

(5)配当金

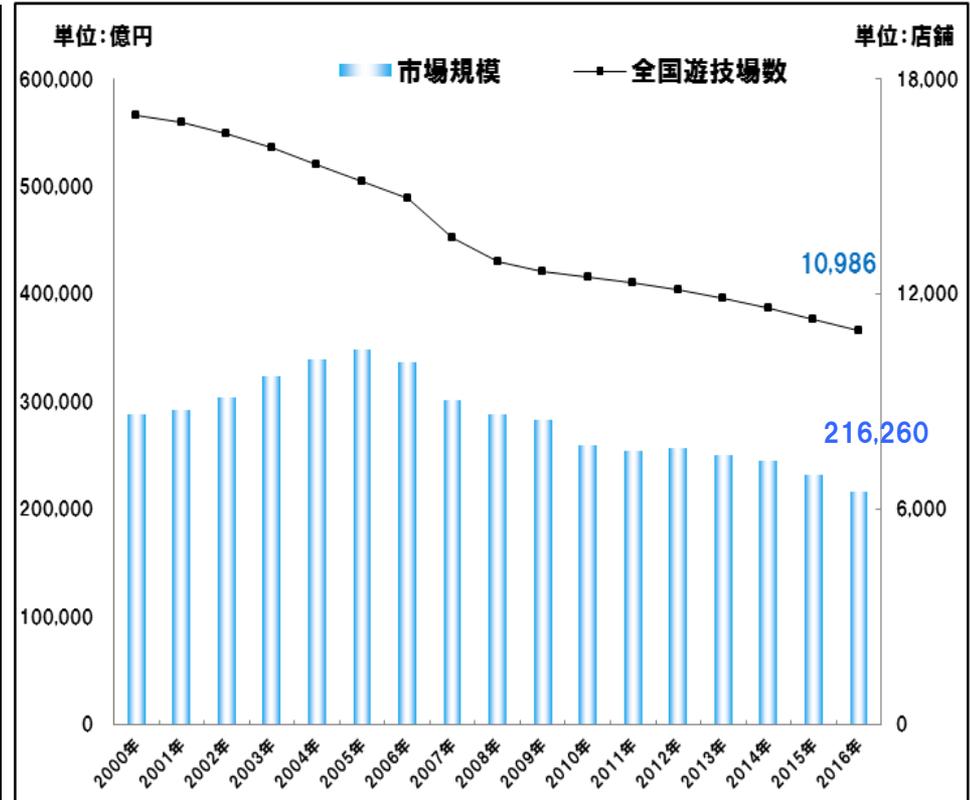
区 分	第2四半期	期 末	合 計
2017年3月期	---	30円00銭	30円00銭
2018年3月期 (予定)	15円00銭	(20円00銭)	(35円00銭)

平成29年5月11日付「平成29年3月期 決算短信」にて公表いたしました通期の配当予想につきましては、現時点において変更はありません。

今後、修正が必要になった場合には、速やかに開示いたします。

2. 2018年（平成30年）3月期 市場環境と下期の取り組み

(1)市場環境の変化



データ: 遊技参加人口及び市場規模…レジャー白書、全国遊技場数…警察庁

(2) 加盟店舗数の推移

① P S A (一般社団法人プリペイドシステム協会) 加盟各社における加盟店舗数の推移

(単位:店)

区 分	2016年3月期 (下期末)	2017年3月期 (上期末)	2017年3月期 (下期末)	2018年3月期 (上期末)
弊社グループ	4,184 (46.3%)	4,066 (45.6%)	3,957 (44.8%)	3,826 (44.0%)
グローリーナスカ(株)	2,098	2,075	2,076	2,081
(株)マースエンジニアリング	2,051	2,037	2,011	1,979
ダイコク電機(株)	527	567	616	644
(株)ユニバーサル エンターテインメント	163	146	141	129
(株)オーイズミ	21	26	29	30
合 計	9,044	8,917	8,830	8,689

データ:PSA(一般社団法人プリペイドシステム協会)

()内の数値は、PSA(一般社団法人プリペイドシステム協会)に占める弊社の占有率となっております。

②獲得・解約店舗数の推移

(単位:店)

	期首	上期		第2四半期末	下期		期末
		獲得	解約		獲得	解約	
2016年3月期	4,443	47	175 (91)	4,315	54	185 (90)	4,184
2017年3月期	4,184	25	143 (86)	4,066	39	148 (71)	3,957
2018年3月期	3,957	28	159 (93)	3,826	---	---	---

()は、閉店による解約店舗数となっております。

(3)規制について

- ①「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律（IR推進法）」
（平成28年12月15日 成立）



付帯決議にギャンブル依存症対策の検討が盛り込まれる。

- ②「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則及び遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則の一部を改正する規則」
（平成29年9月4日公布、平成30年2月1日施行）

- 大当たり時の最大出玉の引下げ
- 試射試験における出玉率の変更
（消費金額を抑え、時間消費型の遊技へ）
- パチンコ台に6段階の設定が可能
- 遊技球（メダル）数表示装置の搭載
（遊技球に触れずに玉（メダル）を発射させる遊技に備えられ、
電磁的方法によって遊技球総数を記録できるもの。
すなわち「管理遊技機」のことである）

(4)管理遊技機とは

「管理遊技機」も規則改正後は実現可能となり、次のメリットを有した新たなジャンルの遊技機になると考えます。

1. 依存症対策に資する
2. 不正防止に資する
3. 少数の玉・1台毎に独立・レイアウトが自由となりローコストな運営が可能となる

現状との差別化が図れば、、、、

1. 新たな遊びの提案

2. 新たなファンの獲得

3. スリープユーザーの
掘り起こし

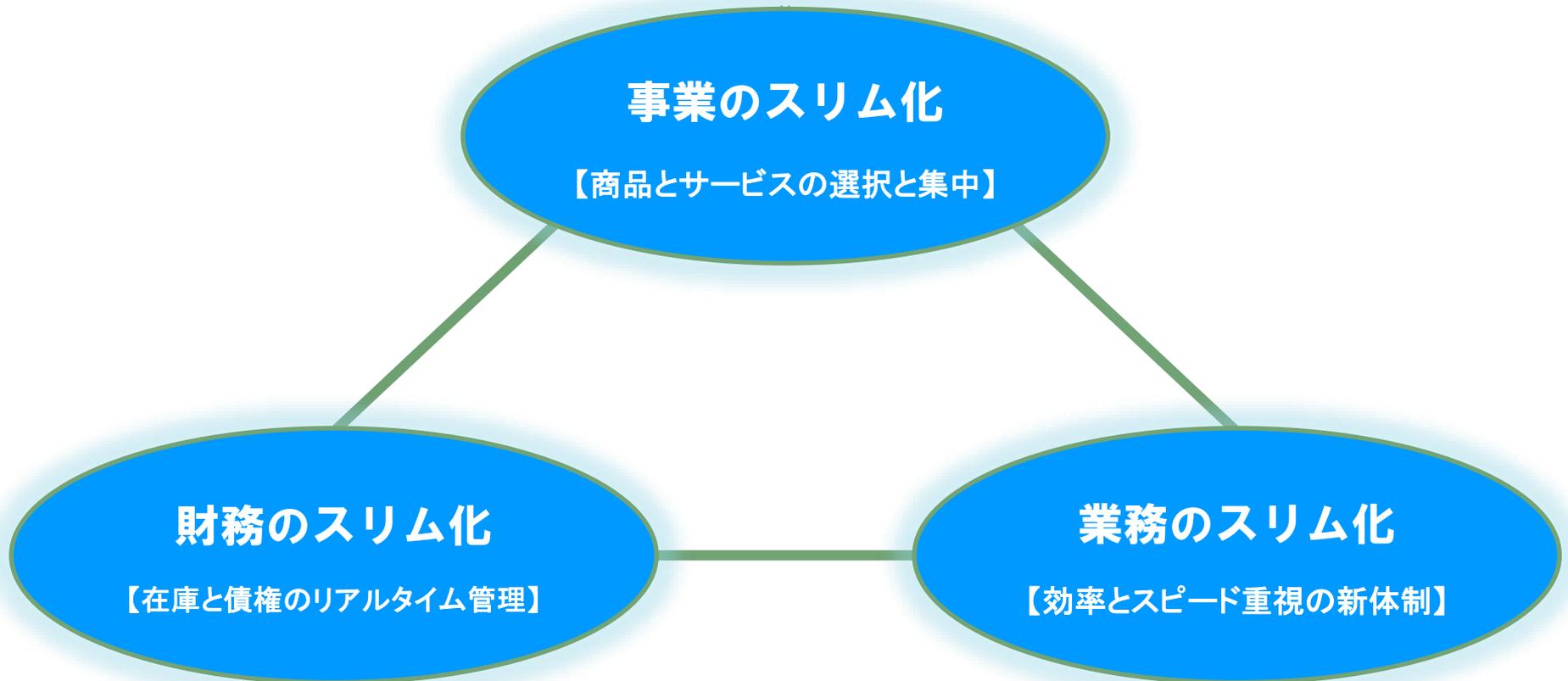


ホール様の設備投資意欲が高まり、
弊社を含めたカード会社を取り扱う周辺設備のニーズも高まる。

(5)下期の取り組み

①現在進行形の取り組みについて

前期より取り組んでまいりました **構造改革の完成とその効果の最大化** を目的として、次の3つを柱として課題を設定し取り組んでまいりました。



②下期の取り組みについて

目標とする経営指標を株主様からの投資に対する責務となる「自己資本当期純利益率(ROE)」と「スリム経営」の結果が反映される「総資産経常利益率(ROA)」及び「一人当たりの営業利益」と考えており、この下期においては以下の3点を具体的な課題として掲げ取り組んで参ります。

- A. 商機到来時に積極的にチャレンジができる企業体質強化への取り組み。
- B. 既存加盟店の維持を最重点としてよりホール経営に貢献するサービスの開発。
- C. スリム経営により効率とスピードを重視した組織体制の整備。

(参考:1)

	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期
自己資本当期純利益率(ROE)	2.2%	0.7%	△5.3%	0.1%
総資産経常利益率(ROA)	2.8%	1.4%	△2.4%	3.7%
一人当たりの営業利益	5.9百万円	2.7百万円	△4.9百万円	6.8百万円

(参考:2)

	2017年4月	2017年5月	2017年6月	2017年7月	2017年8月	2017年9月
株価最高(円)	1,254	1,265	1,367	1,380	1,345	1,335
株価最低(円)	1,200	1,219	1,256	1,325	1,314	1,320

本資料お取り扱い上の注意

本資料は弊社をご理解いただくために作成されたもので、弊社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するにあたっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害につきましては、弊社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想並びに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき弊社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及又は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。